

えました。

この記念すべき年に、温泉街の交通渋滞の解消とにぎわいを取り戻す登別温泉バイパスが開通したほか、天然の間欠泉を間近に見ることができ『源泉公園』が完成し、登別温泉泉展の第二幕とも言える新たなステージが完成しました。

これを契機として、さらなる飛躍・発展を目指し、観光客の誘客やリピーターを増やすための新たな観光戦略の策定に取り組みとともに、登別温泉のみならず市内に埋もれた観光資源を掘り起こして活用の方策を探るなど、市民の皆さんとともに知恵を出し合い、まちを挙げて、光を放ち続ける観光地づくりを進めていきたいと考えております。

また、市内の経済活性化対策の一つとして、観光産業を軸とした他産業との連携により、経済の活性化を目指す『登別産業クラスター形成計画』の具現化を推進するとともに、異なる業種の企業によるネットワークのつながりをさらに深めて産業間連携の厚みを持たせ、雇用の促進を図るとともに、『のぼりべつブランドづくり』を進めることにより地域の経済の活性化を図ってまいります。

### ③市民の暮らしを大切に したまちづくりの推進

少子高齢社会の到来や核家族化の

進行により地域の活力が停滞し、地域に暮らす人々の社会的なつながりが希薄化しつつあります。

このため、日常生活において支援を要する高齢者や障がい者などを取り巻く環境は一層厳しくなっております。

今こそ、共に生きるまちづくりの精神を発揮し、生活の拠点である地域に根ざして助け合い、誰もが安心して充実した生活が送れるような、機能的で心の通った支え合う福祉を推進する体制の構築を図ってまいります。

登別の未来を開く子どもたちは、登別市にとってかけがえのない宝であります。

この子どもたちが、豊かな自然と地域との触れ合いの中で健やかに育ち、心豊かに成長することは私の心からの願いであるとともに、市民すべての願いでもあります。

子育て世代が安心して子どもを生育できることができるよう地域の協力を得ながら支え合う環境を充実させ、子どもたちが成長していく過程においてそれぞれの時期に必要なとされる教育をこれまで以上に展開するとともに、市民誰もが生涯にわたって心豊かに生き生きと暮らせるよう生涯学習の充実を図ってまいります。

※ ※

以上が、今後4年間の市政運営にあたる私の基本的な考え方であります。

すが、これらの実現には行政コストを削減して効率的な行政運営を進めるとともに、『良いところは大きい助長し、改革すべきところは強い意志を持って改革する』という考えを基本に行財政改革に取り組み必要があります。民間経営のノウハウを活かし、喫緊の問題に緊張感とスピード感をもって取り組み、行財政改革を進めるにあたってはコスト意識を常に持ち、時勢が何を必要としている

#### 当面の課題

### まちづくりの主役である市民の 幅広い参画による十分な議論の展開を

#### 課題①

### 市民力を結集した 協働のまちづくり

『公正・公平・公開』を原則とする開かれた市民自治の実現のためには、まちづくりの主役である市民の皆さんの広範な参画を得ることが基本であり、まちづくりに参画しているという手応えを実感しながら、市民一人ひとりがまちづくりを進めなければなりません。

行政が行うさまざまな事務事業は、法令などに基つき定められた手順を踏む必要があるものや財源が限られているため複数年度に渡って事業展開をする必要があるものなど、事業の趣旨や手法、期間、経費など、理解しにくい点があります。

るかをしっかりと認識し、改革を進めてまいります。

行財政改革は、市民の皆さんや職員の方々はもちろんですが、市民の理解と自ら改革に取り組む意思無しに進めることはできません。

常に皆さんとの対話を図り、率先して改革に取り組んでまいります。

まちづくり各般にわたり、議員の皆さんならびに市民の皆さんのご意見とご協力を賜りたいと存じます。

私は、市の仕事について市民の皆さんにご理解をいただき、広範な市民参画を得ていくため、広報紙やホームページ、各種懇談会などを活用し、市が行う事務事業の内容などについて、平易な言葉や図などを用いながら市民に分かりやすく丁寧な情報発信に努めてまいります。

また、経費や人材、資源などを無駄にしない将来をしっかりと見据える民間の視点・発想を活かし、単に行政を運営するのではなく、市政においても諸物価の値上がりという厳しい状況の中で、市民が生活を営むと同様に細かなところに気を配り、切り詰めるところは切り詰め、少しでも無駄を省いた、きめ細かで効率的な行政経営に取り組んでまいります。